

## 飯能市郷土館・飯能市立博物館の沿革

| 年月日                   | できごと                                                                 |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 昭和46(1971)年3月         | 「飯能市郷土館建設基金の設置、管理及び処分に関する条例」が公布され、株式会社丸広百貨店より寄附された1千200万円が予算化される。    |
| 昭和61(1986)年3月         | 株式会社丸広百貨店より寄附された観光施設整備基金約2億1千万円を郷土館建設基金に繰り入れる。                       |
| 昭和62(1987)年3月         | 飯能市文化財保護審議委員会から郷土館建設基本構想・基本計画が答申される。                                 |
| 昭和63(1988)年6月         | 建築工事に着工する。                                                           |
| 平成元(1989)年12月         | 飯能市郷土館条例が制定される。                                                      |
| 平成2(1990)年4月          | 飯能市郷土館友の会が結成される。                                                     |
| <b>平成2(1990)年4月</b>   | <b>飯能市郷土館が開館する。</b> (常勤職員は館長・学芸員1・主事補1)                              |
| 平成2(1990)年4月          | 開館記念特別展「飯能の国指定重要文化財」・「わたしの宝物 ―思い出に残る品々―」開催。                          |
| <b>平成5(1993)年6月</b>   | <b>開館以来の入館者数が10万人を突破。</b>                                            |
| 平成6(1994)年4月          | 開館5周年記念特別展「幕末・明治の幻陶 飯能焼」開催。この展示で初めて特別展の図録をつくる。                       |
| 平成6(1994)年10月         | 特別展「ジャパン・マイセン ―瀬戸の磁器人形―」開催。この展示で、1日平均入館者数最多の205.6人を記録する。(開館記念特別展を除く) |
| <b>平成8(1996)年5月</b>   | <b>開館以来の入館者数が20万人を突破。</b>                                            |
| 平成9(1997)年3月          | 『館報』第1号発行。                                                           |
| 平成10(1998)年9月         | 「中学校社会科研究展」開催。(以後毎年実施)                                               |
| 平成10(1998)年10月        | 特別展「時の記憶 ―飯能の写真展―」開催。                                                |
| 平成10(1998)年11月        | 市民との交流事業「定点撮影プロジェクト」開始(～平成27年3月)。                                    |
| 平成11(1999)年3月         | 収蔵品展開催。(これ以降、毎年春に収蔵品展、秋に特別展という枠組みになる)                                |
| <b>平成11(1999)年12月</b> | <b>開館以来の入館者数が30万人を突破。</b>                                            |
| 平成12(2000)年1月         | 第Ⅰ期市民学芸員養成講座開始。                                                      |
| <b>平成12(2000)年3月</b>  | <b>博物館法に基づく登録博物館となる。</b>                                             |
| 平成13(2001)年3月         | 『研究紀要』第1号発行。                                                         |
| 平成13(2001)年9月         | これまでの「中学校社会科研究展」に小学生も対象に加え、「小中学校社会科研究展」として開催。                        |
| 平成14(2002)年10月        | 当館ホームページをインターネット上で公開し始める。                                            |
| 平成15(2003)年3月         | 『収蔵資料目録1 写真資料目録Ⅰ』発行。                                                 |
| <b>平成15(2003)年8月</b>  | <b>開館以来の入館者数が40万人を突破。</b>                                            |
| 平成17(2005)年1月         | 名栗村との合併にともない、名栗村史編さん事業を当館が引き継ぐ。                                      |
| 平成19(2007)年3月         | 当館所蔵の「飯能の西川材関係用具」が埼玉県有形民俗文化財に指定される。                                  |
| 平成19(2007)年4月         | 常勤職員5人のうち、館長以外の職員すべてが学芸員有資格者となる。                                     |
| <b>平成19(2007)年4月</b>  | <b>開館以来の入館者数が50万人を突破する。</b>                                          |
| 平成22(2010)年3月         | 『名栗の歴史(下)』を刊行し、名栗村史編さん事業が終了する。                                       |

|                |                                                                      |
|----------------|----------------------------------------------------------------------|
| 平成22(2010)年10月 | 飯能市埋蔵文化財保護行政30周年記念特別展「大地に刻まれた飯能の歴史 ―30年の発掘調査成果から―」開催。                |
| 平成22(2010)年11月 | 開館以来の入館者数が60万人を突破する。                                                 |
| 平成23(2011)年10月 | 特別展飯能戦争「飯能炎上 ―明治維新・激動の6日間―」開催。会期中に展示図録が完売し、300部増刷する。(当館発行の刊行物増刷は初めて) |
| 平成26(2014)年5月  | 開館以来の入館者数が70万人を突破する。                                                 |
| 平成26(2014)年6月  | 名栗くらしの展示室を開設する。                                                      |
| 平成28(2016)年8月  | 「飯能市郷土館常設展示改装に関する計画」策定、郷土館協議会で承認される。                                 |
| 平成28(2016)年9月  | 常設展示改装展示設計業務を開始する。(平成29年2月完成)                                        |
| 平成29(2017)年6月  | 展示改装工事のため休館し(6月1日から平成30年3月31日まで)、常設展示改装工事を開始する。(平成29年12月完成)          |
| 平成30(2018)年4月  | 「飯能市立博物館」と名称を変更し、リニューアルオープンする(愛称「きつとす」)。                             |
| 平成30(2018)年5月  | 開館以来の入館者数が80万人を突破する。                                                 |
| 平成31(2019)年3月  | 年間入館者数が始めて40,000人を超える(平成31年度の入館者数は41,533人)                           |
| 令和元(2019)年10月  | 開館30年記念特別展「飯能の名宝」開催。                                                 |
| 令和2(2020)年4月   | 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令されたことをふまえ休館する。(4/9～5/6、のち5/31まで延長)     |
| 令和3(2021)年4月   | きつとすデジタルアーカイブ公開開始(絵画471点)                                            |
| 令和3(2021)年5月   | 開館以来の入館者数が90万人を突破する。                                                 |
| 令和4(2022)年11月  | 博物館協議会委員による博物館評価開始                                                   |
| 令和6(2024)年7月   | 開館以来の入館者数が100万人を突破する。                                                |